

平成7年1月17日未明突然起こった大地震はかつて経験したこともない恐怖と被害をもたらしました。

大きな揺れが一応治まり家族の無事を確認し、一歩家を出るとそこは正に地獄絵さながら音葉も出ない有様でした。道を隔てた向かいの銭湯は全壊し、大きな太いコンクリートの煙突が北に倒れ住宅三棟が全壊しており、頭から出血した近所のおばさんが倒壊をせず残ったマンションの入口に倒れており、隣接する文化住宅は2棟共全壊。中から聞こえる叫び声に唯おろおろするだけの自分が情けなくなりました。倒壊家屋の中に入るにも余震が続き救出にも道具は家庭用の道具箱の中にある鋸一つという状態でした。

あちらこちらで救出が始まり救援を呼ぶ為思い出して自宅に戻り、ハンディ機を持ち出し二階のベランダからメインで呼びかけましたが、そこには何も無かったような日常の交信が飛び交う状況で非常通信が出せる状況ではありませんでした。

一度、場所は分かりませんが応答してもらい住所を聞かれ喜び地名番地を答えようとしたのですが、残念ながら無変調の為使用出来ず本当に悔しいおもいでチャンネルを変えトライしましたが結果駄目でした。

この時程自分の無力さを感じた事はありませんでした。とにかく人手が欲しかったのです。多くの人たちが目の前で察の下敷きになって叫んでいるのに人手が足りず又道具らしい道具も無く一体どうすれば良いのか正に茫然自失の状態でした。

この時我家の近くに地区の会館がありますが、ここにでも緊急時の道具でもあればとつくづく思いました。地域にすこしずつでも緊急時の食料、医薬品、等々、常時保管が可能ではないかと思いました。とにかく鋸、バール、等が地域の決められた場所があればと思いましたが道具が無いため自動車のジャッキも使いましたが結果駄目でした。

震災の翌日石油液化ガスのガス漏れの発生による緊急避難で13時間国道2号線より北への避難をしました。

この時携帯ラジオで被害の範囲が非常に広範囲で阪神間が壊滅状態である事が詳しく判明しました。

当時大阪府下堺市に勤めのため一人で生活をしていた長男が連絡もとれず状況を知らせる事もできず本当に困りました。

当人もテレビで死亡記事ばかりを探していたと後日言うておりました。

公園の寒空に一日避難をしている時、ある雑誌記者が近づき我々家族に対し被害状況、今なにが必要かどうして欲しいか色々聞かれましたが、まずこちらからは誰に向かっても情報の発信が出来ないイライラを訴えました。幸い家族無事に避難しているにもかかわらず知らせる事も出来ずこの時も持っていたハンディ機が恨めしく思ったものです。当時ラジオからは安否情報と言う番組が常に流れていましたが、この放送を聞く度に腹立たしく思ったのは、ラジオでいくら無事であれば電話をして下さいと呼びかけをされても避難者は何も出来ず、電話を使い無事を放送局に知らせる事が可能であれば直接家族肉親に連絡をするのにとバカバカしく思いました。

避難をしている当事者は一刻も早く無事を家族、親戚、友人、知人に知らせたい気持ちが有りながら何も出来ず本当に辛いおもいで過ごしたことでしょう。

この事は雑誌の記者にも言いましたが理解出来ないようでした。今おもえば避難先からこの場所で誰と誰が無事避難していると情報の発信ができ、これが公共の電波に乗り広く情報を知らせることが可能であればと思います。

その後確かNHK衛星放送でオランダのある町のSOS話というシステムの紹介がありました。偶然その番組をみてこの方法が日本で今回の震災のように危険を避け避難をしななければならない場合、うまくつかうことが出来るのではと思いました。

オランダは海面より低い国土に堤防で海水の流入を防いでいるため、時として住民の避難と言うケースもあり、こうした場合安全な地域に避難した後、地元放送局に連絡し誰がどの場所に無事避難しているか、又危険箇所に取り残された人々の救出の情報を広く知らせる為に地元放送局に対し、電話を使い情報の提供をするやり方です。

今回の阪神・淡路大震災の場合数多くの避難者が学校・公民館・地域の集会所その他多くの施設に分散し避難しましたが、おそらくその人達の多くは一刻も早く遠く離れて住む家族・親戚・知人・友人に無事避難していることを知らせたかったのではなかったでしょうか。

日本には日本アマチュア無線連盟という立派な組織も有り、今回の震災時にも素晴らしい仕事をされたと聞いており、多くの人達がボランティアとして永く活動された事も承知しておりますが、電話も不通になりこのような事態こそ無線を使い情報をそれぞれの避難所から無事避難されている人々の住所・氏名を集約し地元放送局・テレビ局に連絡、その情報を公共の電波で広い範囲に伝達出来ればと思いました。

勿論このような事を実施するには法律上問題があるかもしれませんが、これこそがまさに安否情報だと思いました。

常に非常時に対しての組織を作っておかないと、こんな場合機能しないかもしれませんがこうして緊急時の組織が事前にあれば自分がどの部門を受け持つかすぐに対応出来たかもしれません。残念ながら私個人としては今回の震災で倒壊家屋から人々の救出につとめましたが無線をする一人として何も出来ずこれで良かったのかと今も思っています。何をどう動けばよいのか全く分かりませんでした。私のような体験の無い者は、震災後10ヶ月経った今も、もっと何かが出来たのではと今も思っています。

最後に、今回の震災に各方面より寄せられました多くの人々の善意に心から御礼申し上げます。本当に有難うございました。

特別局「J3AMR」活動報告書

* 期間・組織役員等の活動報告	1 - 8
* 基地局のころえ	9 - 10
* 運用ローテーション表	11 - 12
* 局の器材及びハンデ機の使用方法	13 - 14
* 運用日誌の一部と器材管理表(抜粋)	15 - 17
* ボランティア受付票	18
* 巡回活動報告書(抜粋)	19 - 21
* 社会福祉協議会活動報告書(抜粋)	22 - 27
* 生活情報マップ作成活動(開店、営業時間等の情報収集)	28 - 33
* 車椅子等の搬送支援活動(全国広域目黒チェアキャブと連携)	34 - 35
* 解散案内と特別局継続願い	36 - 37
* 社協の活動報告	38

広域災害時の防災体制とアマチュア無線

* 地域防災活動との関わり	40 - 41
* 非常時の初階活動とアマチュア無線・情報収集手段	42 - 44
* 非常通信網	45
* アマチュア無線での通信訓練(尾崎市地震対策総合訓練)	46 - 52
* 情報・伝達通信訓練(防災の日・アイボール会)	53 - 56
* 情報・伝達訓練の報告(JQ3TYL 三村 昭一)	57 - 58

阪神・淡路大震災の当日記録

* JQ3NVK 小中 幸雄	59 - 60
* JQ3TYL 三村 昭一	61 - 64
* JQ3TWQ 満園 聡	65 - 66
* JL3FRP 上原 美代子	67 - 68
* JJ3MNI 岡野 伸伸	69 - 70
*	71 - 75
*	77 - 80

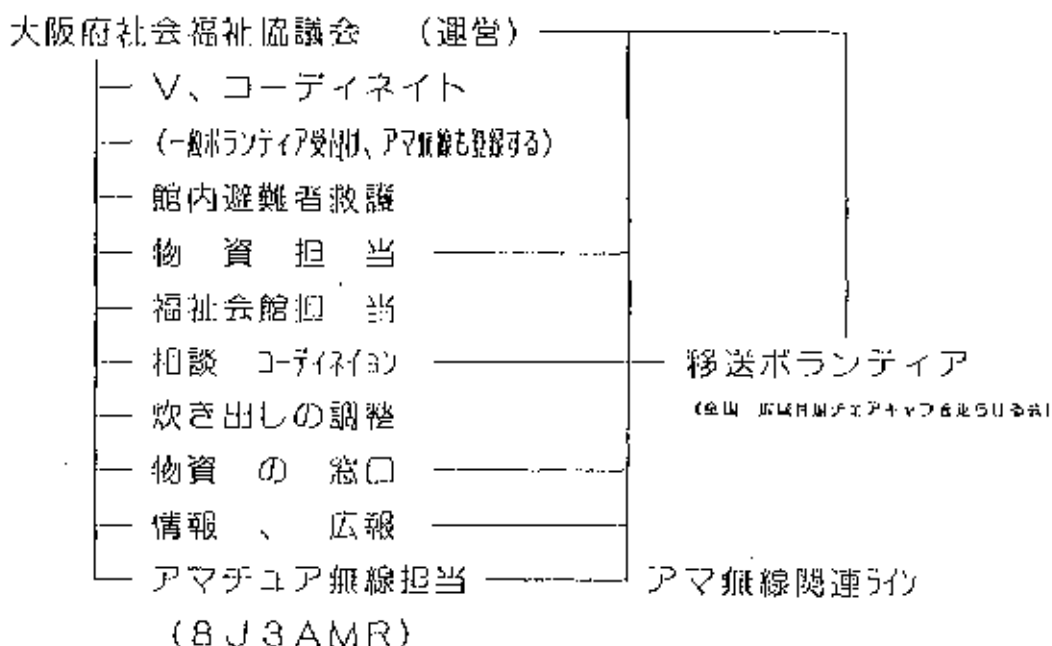
FTZ-FM愛好会機関誌	81 - 90
--------------	---------

阪神・淡路大震災に於ける災害救援活動報告書

1995年 平成7年7月28日

- 報告者 : 小中幸雄 JQ3NVK 〒660 尼崎市大島3-12-2  
TEL06 419 5800
- 基地局名 : 災害復興支援局 西宮市現地事務所  
(災害救援特別局)
- コールサイン : 8J3AMR
- 運用期間 : 1995年2月12日～4月15日
- 運用場所 : 震災救援社協合同本部、西宮市現地事務所 (市立福祉会館4F)
- 運用主体 : FTZ-FM愛好会及び一般支援アマチュア無線局  
同時にJJ3YUA、大庄消防無線クラブも開設
- 設定周波数 : 主に 436.720MHz F3  
1200MHz F3 1292.04MHz JP3Y01 西宮赤山のビーター
- 通信方法 : 率領通信方式 基地局(8J3AMR)が移動局を総括する  
基地局より移動局を一斉呼び出しをしたり、移動局が基地局を呼び出し連絡をする 移動局間の通信は基地局の了解を得るものとする  
この方式で目的とする通話連絡は十分できた (FTZ-FM愛好会 ソニアミーティングはこの方式に準じ5年間 実施してきた)
- 参加局数 : 西宮市現地事務所ボランティア登録数55局 他支援局多数

西宮市現地事務所組織



アマチュア無線局は上記の組織内で活動した。

運用目的 : アマチュア無線局運用を主目的とせず、一般ボランティアとして西宮市現地事務所に登録。震災復旧支援活動の中でアマチュア通信を活用するものとする。

- 基地局の役割 :
- 1) アマチュア無線家のボランティア、登録受け付け
  - 2) アマチュア無線担当の活動目的などの説明
  - 3) 外に出ている、各ボランティア、及び一般アマチュア無線局からの情報を事務所担当に連絡、検討、対応
  - 4) 毎日、アマチュア無線担当の活動報告書(週報レポート)記入、作成する。現地事務所責任者に提出。(19:00まで)
  - 5) 21時よりの合同ミーティングに出席、一日の活動報告と明日の活動計画を発表する。
  - 6) 不法局の排除は、JARLのガイダンス、アナウンスもありますがもめない様に、しかも、はつきりと協力を要請する
  - 7) JARL関係局との対応
  - 8) 一日の、業務終了後、報告書をJARL/3にFAX送信する。

- 活動内容 :
- 1) 社協職員及び一般ボランティアとタイアップ、市内情報収集活動と市内全域の通信連絡網の確立 (一般アマチュア無線局よりの情報提供)
  - 2) 小規模避難所の現地実態調査、不足物資調査、輸送と配達
  - 3) ボランティア移送用マイクロバス運行及びルート案内  
身障者、通院時の車運転代行及びルート案内
  - 4) 市内商店開店状況調査とマップ作成
  - 5) 社協職員による市内一斉調査時のルート案内と後方支援
  - 6) 全国広域目黒フェア、キャブを走らせる会(ボランティア)とのタイアップで 運転代行とルート案内 (主に老人の方と身障者の移送)
  - 7) 自転車の点検及び整備 (ボランティア活動に使用、約100台)
  - 8) 引っ越し手伝い (ルート案内、引っ越し現場と現地事務所との連絡、指示)
- 尚、4月1日以後は、移送ボランティア支援活動が主となる以上が主な活動です。

## 8 J 3 AMR 西宮現地事務所 活動内容

下記の活動の中でアマチュア無線を活用しました

- 2月12日(日) ☆災害救援特別局 8 J 3 AMR 西宮現地事務所開局  
☆不足物資の調査及び輸送配達  
☆小規模避難所 現地実態調査
- 2月15日(水) ☆甲子園町で急患が発生、アマチュア無線で移動中の局に応援を求め、対応した
- 2月16日(木) ☆8 J 3 AMR - 震災復興支援局と称す
- 2月18日(土) ☆便秘薬が必要とアマ無線で要請あり、ワッチ局より薬あり、すぐ持参と応答、提供いただく  
☆被災者の方々の生活状況調査、アマ無線活用  
☆特に老人の方々に話しかけ、話をよく聞いてあげる必要を感じる
- 2月19日(日) ☆一般ボランティアの方より営業風呂屋調査依頼により調査連絡す  
☆アマ無線ボランティアによる一斉現地調査(避難所外の避難者の調査)
- 2月20日(月) ☆マイクロバス運転手(大型)提供依頼により、2エリアより駆けつけてくれた局が運転する  
☆避難されている人たちの状況把握にアマ無線を活用、効果的である
- 2月22日(水) ☆アマ無線ボランティアグループ、自主活動も含め活動となる  
☆市内商店などの開店状況調査  
☆一斉/お声がけ運動の検討
- 2月24日(金) ☆アマ無線ボランティアグループの集めた商店状況データ、活用方法の検討と整理開始(マップ作り)  
☆18:30ごろから西宮市・芦屋市停電、非常用電源で運用情報収集
- 2月25日(土) ☆全国広域目黒チェアキャブを走らせる会(移送ボランティア)会長他2名来所、アマ無線とのタイアップ依頼あり
- 2月26日(日) ☆アマ無線ボランティアグループによる商店開店状況一斉調査  
☆合同社会福祉協議会、現地一斉調査会議出席  
☆自転車点検・整備開始(ボランティア活動で使用)

- 2月27日(月) ☆身障者よりの依頼で、病院への送り迎え移送ボランティア始まる  
 ☆社協のチーフの方より、アマ無線の自主活動情報提供依頼される  
 ☆アマ無線を通じて、レンジを修理したい、電器店の問い合わせあり  
 調査マップより連絡、喜ばれる
- 2月28日(火) ☆移送ボランティアのチェアキャブのルート案内のための道路状況  
 調査始まる  
 ☆兵庫県支部委員を迎え、今後の活動について相談する
- 3月3日(金) 商店開店調査票に基づき、マップ作成  
 ☆今後アマ無線と震災復興をどのように活用するか、運用法方法の検討
- 3月8日(水) ☆社協による夙川地区現地調査 8J3ADR 8J3ADU 2局同行
- 3月9日(木) ☆120MHz帯山口町レピータ(JP3YDI) 運用テスト良好  
 (阪神福祉センター(山口町) ルート案内時、430MHz帯では交信不能のため)
- 3月10日(金) ☆今まさに倒壊した家を踏見！そして私たちは行動を開始  
 (アマ無線と社協ボランティアとアマチュア無線通信による活動報告別紙)  
 ☆活動中の一般ボランティアの方が負傷との連絡あり、ボランティアリーダーに連絡、軽傷だった
- 3月13日(月) ☆移送ボランティアによる移送サービス、活路となる
- 3月15日(水) ☆本日をもって西宮現地事務所、ボランティア組織が解散となる  
 8J3AMR 震災復興支援局は西宮市内に引き継ぎとなる  
 運用と移送ボランティアのルート案内が主となる
- 4月1日 4月1日以後も8J3AMR運用希望、兵庫支部長へ依頼
- 4月15日 ☆本日をもって8J3AMR震災復興支援局、閉局となる

以上が主な活動内容です。

8J3AMRは震災救援社協合同本部西宮現地事務所のアマチュア無線担当として組織内での活動でした。

ま と め： 2月12日開局初日、合同ミーティングの席でアマチュア無線局  
8J3AMRの開局報告と共に、アマチュア無線の特徴の一つ  
の、一斉通信（同時に多くの局が聞ける、一斉呼び出し、個別  
呼び出しができる、電話ではできない連絡手段である）説明と  
活用方法等をJQ3TWQ満園氏の方より説明、ボランティア  
活動のお手伝いをさせていただきますとアピール。

西宮市現地事務所内の重要なアマチュア無線担当として活動  
3月3日より、始まる各県社協の協力で実施される、西宮市内  
一斉調査、調査委員責任者会議（大阪府中央区で開催）に出席  
アマチュア無線通信の説明、お手伝いができることを説明した。  
市内一斉調査時、アマチュア無線が一部お手伝いをするこ  
うことができました。

震災復興支援局として十分役目を達成すると共に、西宮市現地  
事務所に来られた全国のボランティアの方々に、心のふれあいと  
アマチュア無線のすばらしさを知っていただいたと幸いです。

私たちが8J3AMRを運用して、十分目的を達成できたことは  
大阪社協ならびに、全国からのボランティアの方々との、連携と  
430MHz FM波をいつも、楽しく運用しているFTZ-FM  
愛好会各局と、各アマチュア無線局の協力のおかげと感謝してい  
ます。尚、4月1日以後は、西宮市内アマチュア無線局が主になっ  
て、移送ボランティアの支援と、ルート案内で活躍されました。

広域災害時の救援活動にアマチュア無線を活用するには、普段から  
ローカル各局と交信し、連携体制づくりと、各公的機関との連携が  
大切だと思えます。

以上

提案と要望： 災害時に、隣接のアマチュア無線局が支援のため早急に立ち上げられる  
体制の確立  
： 非常時の、アマチュア無線非常通信の必要性（役割）とマナーの広報  
： 通常時の、無線運用の指導（不送信、周波数の独占、緊急時妨害波防止対策）

以上



読者サービス部 発行

平成7年(1995年)2月15日(水)発行

# 兵庫県南部地震 被災者の皆さまへ

編集協力  
総務府/平成7年兵庫県  
南部地震非常災害対策本部

「今週の日本」特別号  
第2号

いものを拭るよう心かけましょう。  
また、たくさんの人か環境に生活をしない  
ばならない場所なので、できるだけ  
換気の換気を心かけましょう。

—厚生省—

## 利などの病気予防について

事の前後、用便の後には、できるだ  
消毒薬やウェットティッシュなどによ  
を清潔にするよう心かけましょう。  
飲み水には、十分注意しましょう。わ  
やかめ水は絶対に飲まないでくださ

い食べ物は、食べないでください。

—厚生省—

## ランテニア活動の派遣等の照会 について

会福祉関係者「兵庫県南部地震」救  
済対策本部では、次の現地事務所で、  
者の方々のニーズを伺い、これに対  
するボランティアの派遣や、炊き出し、  
の配布を行っています。

市現地事務所

宮市福祉会館

市現地事務所

豊市社会福祉協議会ボランティアセ  
ンター

川市現地事務所

古川市社会福祉協議会

灘区での救援活動

市現地事務所

(高齢者福祉センター)

しいことは、下記までお問い合わせ  
ください。

司対策本部

市中央区中寺1-1-54

府社会福祉協議会内

電話・06-762-8677

FAX06-762-8470・—厚生省—

## ガスの二次災害防止について

ガスは、二次災害防止のため被災

を確認するまでは、絶対にガスを使わ  
ないでください。

—資源エネルギー庁—

## 無料入湯券の配布等について

被災地近郊の兵庫県、大阪府、奈良県  
の一部旅館のご協力をいただき、これ  
らの旅館で利用可能な共通無料入湯券の  
配布を行っています。

また、神戸市、西宮市及び芦屋市にお  
いては、当該旅館までの無料送迎バスの  
運行を行っています。

なお、詳しいことは下記連絡先にお問  
い合わせください。

連絡先

神戸市三田青年会事務所 (3,000枚)

電話0796-62-2667

西宮市役所 (2,000枚)

電話0798-35-3600

芦屋市役所 (2,000枚)

電話0797-38-2099

宝塚市役所 (1,500枚)

電話0797-71-1141

尼崎市役所 (1,500枚)

電話06-489-6031

—運輸省—

## 火災の再発防止について

被災地における水道、都市ガスなどの  
ライフラインの復旧にあたっては、各機  
関が全力で取り組んでいます。都市ガス  
については、ガス漏れなどによる二次災  
害の防止に留意しながら、ガス事業者と  
消防機関が連携して復旧作業を進めてお  
ります。

寒さも厳しい季節であり、暖をとった  
り、料理をするために、ストーブやコン  
ロ、薪炭等を使うことも多いと思います。

火を使っている間はその場を離れない、  
使い終わったら確実に消火するなど火の  
取扱いには十分注意を払い火災の発生を  
防ぐことが極めて大切です。

火災には気をつけましょう。

—消防庁—

暴力団の不当行為があれば相談を

旅  
全  
日

JARL 関西地方本部 及び

JABYRL/3 行

2/12  
FAX

# 災害救援特別局 8J3AMR

## 運用開始の報告をいたします。

運用開始日 1995. FEB 12 (SUN)

運用場所 <sup>〒663</sup> 西宮市津門川町2番28号  
市立福祉社会館4F  
震災救援社協合同本部  
西宮市現地事務所  
TEL 0798-26-9180~62  
FAX 0798-26-2126  
26-9241

運用機材及びコールサイン  
TH-78 X5台 8J3ADR ~ ADV  
DR-M40X1台 8J3AMR  
設定周波数 主に 436.720MHz F3

運用主体 FTZ-FM愛好会 一般支援  
〒660 尼崎市大倉3丁目2 及び アマテア局  
代表者 小川幸雄

※同時に JJ3YUA 大庄消防無線クラブも開設

# 基地局について

- ① 基地局は必ずアマチュア無線従事者が運用して下さい。
- ② 特に決めた運用時間の規定はありませんが現地事柄所担当者（佐藤さん、杉岡さん他）に合わせて下さい。
- ③ 西官現地事柄所基地局と各ハンディ機との連絡周波数は 436,720 MHz F3です
- ④ JAPYRLとの連絡は 436,880 西方向固定ビームの設備を使用 ~~して下さい。~~   
 (常時ワッチにしています)   
 できます。
- ⑤ 基地局は、外に出ている各ハンディ機及び一般アマチュア局からの情報を事柄所担当者に伝える重要なポジションですので、内容を正確にとらえて下さい。  
 監視した場面に出会った場合も ~~冷静に~~ 冷静に 対応して下さい
- ⑥ 不法局の排除はJARLのガイダンスアナウンスもあります。 ~~もめ~~ もめ ~~ない~~ ない 様に、しかしはっきりと協力してもらえる様に要請して下さい。
- ⑦ ~~不法局に~~ グレークインタイムは基地局の方で特にしっかりとって下さい。
- ⑧ JARL 関係局からの問い合わせには必ず基地局が応答して下さい。
- ⑨ 一日の業務終了後 ~~436,880 MHz~~ 必要自分の報告を JAPYRL へに行ってください (436,88 MHz)

※ 基地局オペレーター-の責任として

はじめて参加の方がある時

アマチュア無線ボランティア受付用紙に記入して

もつた事務局担当者 (~~佐藤さん~~, ~~杉岡さん~~)  
に用紙を渡し指示を受けて下さい。

特に、他のボランティアとの同行などの必要が  
ない場合は 基地局の運用をいたただいても  
良いですし、一般ボランティアとして活動して  
いただき、要所で無線を活用していただ  
いても良いと思います。

※ 備品(無線機係)について変更、追加等が  
必要な時は JQ3TWQ/満園に相談して下さい。

自宅 TEL 06-423-2021 職場 TEL, FAX 06-811-2502

(緊急の場合は JAJYRLS 436.880MHz)  
JARL 兵庫県支局長/秋田社 / 富安さん  
TEL 07914-2-2852 TEL 028-425-2263  
FAX 07914-2-4723 FAX 028-425-2215  
必ず事後連絡を下さい。

その他事務局用品、コピー等々は現地事務局  
責任者(佐藤さん, 杉岡さん)その他社協の方に  
お尋ね下さい。

# 基地局 8J3AMR

# 運用口番台表

2月

日	月	火	水	木	金	土
②	13	14	15	16	17	18
JQ3TWA ミツノ JN3KPK JQ3KIV JQ3NVI JQ3M4D JQ3TYL JQ3ROW JQ3POY JQ3VNI JQ3QXF	JS3QXF JN3KPK JQ3NVK コナ JG3GFF 922 JH3ELL イナ JG3RJR コナ JG3RKT 922	JQ3NVK コナ JS3QXF ミナ JG3ROW ミナ	JQ3TWR ミツノ JS3QXF ミナ JG3ROW ミナ	JQ3TWR ミツノ JG3ODS ミナ JG3RKB ミナ JS3QXF ミナ	JS3QXF ミナ JH3PMH ミナ JG3WVN ミナ JG3CEK ミナ	JN3KPK ミナ JG3RJR ミナ JQ3NVK コナ
⑨	20	21	22	23	24	25
JG3CBV ミナ JG3RJR ミナ JG3WVN ミナ	JQ3NVK コナ JG3RJR ミナ JG3RKT ミナ	JQ3NVK コナ JG3RJR ミナ JH3PMH ミナ JG3RKT ミナ	JQ3TWR ミツノ JG3HD ミナ JH3PMH ミナ JH3RJR ミナ	JQ3TWR ミツノ JG3GFF ミナ JH3RJR ミナ	JS3QXF ミナ JQ3NVK コナ	JQ3NVK コナ JG3RJR ミナ JN3KPK ミナ JH3RJR ミナ
⑥	27	28	3/1			
JQ3TYL ミナ JG3RJR ミナ JN3KPK ミナ	JQ3NVK コナ JG3RJR ミナ	JQ3TWR ミツノ JG3WVN ミナ	JQ3TWR ミツノ			

↓ JG3RJR ミナ  
 ↓ JH3ELL ミナ

運用予定の立て替人は記入して下さい。

06.411.2502 314V1  
06.419.154E 27N

# 3月 基地局 8J3AMR 運用表

祝日 現地 調整

日	月	火	水	木	金	土
		2/28	1	2	3	4
		JQ3TWR 314V1 JG3W33	JQ3TWR 314V1	JH3MND 7045	JH3MND 7045 JQ3NDK	JQ3NDK  JH3NDL 314V1 314V1
(5)	6	7	8	9	10	11
JQ3TYL JQ3NDK	JH300H JK3BLY	JH3Q0H JQ3ARD JQ3TWR	JH3Q0H JQ3TWR JQ3NDK GCH3AK	高松 JQ3TWR JQ3ARD	JH3MND JQ3NDK JQ3ARD JH3MND	JH3PL JH3MND
(12)	13	14	15	16	17	18
JQ3TYL JQ3NDK	JQ3NDK		JQ3TWR	JQ3TWR		
(19)	20	(21)	22	23	24	25
		JG3STR?	JG3STR?			
(26)	27	28	29	30	31	

(803AMK)

# アマチュア局機材表

## JARLより

## 個人所有

モーター DR-M40x1 } 803AMR2 使用  
 電源 DM-205x1 }  
 アンテナ G.P. x1 }  
 同軸ケーブル 5D x1 }

1/2波 TH-78x5 803ADR  
 \* ADS  
 \* ADT  
 \* ADU  
 \* ADV

430MHz IC-370A x1

電源 DM-104 x1

外部電源 NO 不明 x1

144MHz IC-251 x1

1200MHz TM-521 x1

ヘッドホンのATH-PTV x1

733変換

ANT. 4301木 x1

1200GP x1

自動専用バッテリー 12V x1

(非常電源)

同軸ケーブル x2

430MHz 機用外部スピーカー x1

1200MHz 外部スピーカー x1

小中  
満園

小中

小中

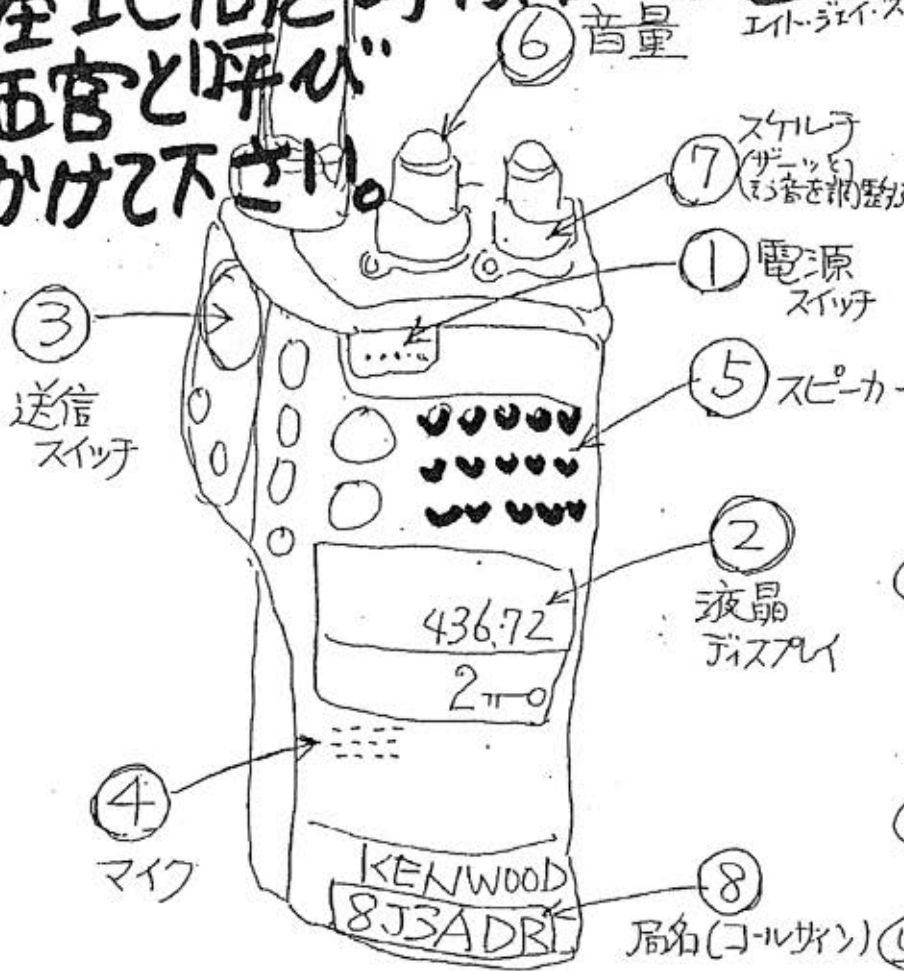
小中

小中

小中  
甲村

# アマチュア無線ハンディ機使用法

基地局を呼ぶ時は8J3AMR  
 西宮と呼び  
 かけて下さい。



- ①電源スイッチ 強く押す
- ②ディスプレイに 表示が出る 436.72 を 確認する
- ③送信スイッチを 押しつけて
- ④マイクに口を 近づけて話す 話し終ると
- ③の送信スイッチ はなす
- ⑤のスピーカーが 相手の声が 聞えます
- 音量の調整 は⑥のつまみ です
- ⑦ザーツと云う音 (相手が送信して) いために カムと云う時は このつまみで 調整します

## 運用上の注意

- ✳ 持ち出す時は必ず動作チェックと電池残を 確認して下さい。
- ✳ ハンディ機管理表に名前を記入する。
- ✳ ハンディ機についている局名(コールサイン)と ⑧ 自分の名前を送信する。
- ✳ 交信内容が簡単明確に、 人名、住所、電話番号、物資の数量等正確に、 特に個人のプライバシーに属する内容については 気をつけて下さい。
- ✳ 専門用語はなるべく使わない 誰にでも わかる様に話して下さい。
- ✳ 使用後は基地局に戻って確認を受けて下さい。



8J3AMR

アマチュア無線運用担当レポート

2月13日 (日曜)

記入者 (小中幸雄) 8J3AMK

活動参加者	主な活動内容	問題点	改善策・感想・希望	明日の活動計画
責任者 ( ) 社協 アマチュア無線運用	(アマチュア無線運用) 8J3ADR OP 50ヤ2 8J3ADN 79ハテ 8J3ADT 7043, 7007 8J3ADU カナ, ニシタ *移動局の各話用先の連絡 及び移動局間の連絡が不十分 現地の状況に現地事務所へ報告 等して活用 訪問先のレポート等も活用して *両宮市立南小学校校舎 8J3AMT局へ送信 学習用品等の送付も活用 送信に不対応 → 現地事務所 報告して現在右の如く *文信回数 44回, 07.06~16.04迄	*本局は地居地音上 かつS波の心電図送信 を行い非帯域に於ける サブ完結係に努めた。 *436.02 MHz を主として 100% 自動率での送信 が多く苦勞したが本日の 試みの文信は出来た。 *18.00 JAZYL OP 50ヤ2 8J3AMR 運用已久 8J3AMM 送信有り 通信	*明日の午局サブを1名 は無断 席替及現地事務所 連絡係に比活動継続 したい。 *両宮特設特別局運用 したい。これに電波が 流すこと対処は (他対策の使われ?) *8J3の他の局へ使用を 確保して両宮局 8J3AMR 運用のコントロール運用は だが今後どうして活用を しパワーダウンして運用を したい	*アマチュア無線運用 各3日間の経験10日 明日の活動予定の運用 *地域巡回訪問活動班 の初年度の文信運用 *等々入浴状況
地域巡回訪問 活動	*先日の熊尾小姐も送難所 訪問した。 1) 門戸会館 2) 江上町市立集会所 3) 両宮寺 4) 両宮市教育文化センター	*2日前の送付も向始した *訪問時の問題は 社協職員がTELにて 対応	社協員の要望は夢 見: 夢かいた	*明日の活動参加予定者 8J3AMK 責任者 小中幸雄 JK8BIY 小中幸子 (記録連絡係)

8J3AMR

アマテラス無線

担当レポート

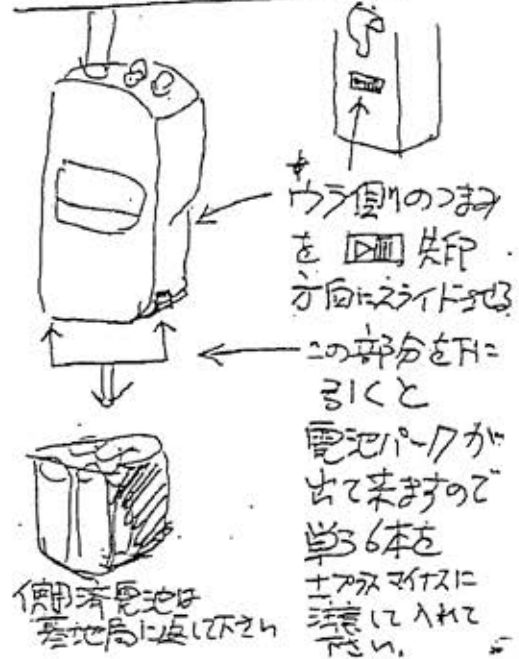
2月14日(火曜)

記入者(小中幸雄)

活動参加者	主な活動内容	問題点	改善策・感想・希望	明日の活動計画
責任者名 小中幸雄 ( ) 社協  小中幸雄 JQ3NVK  梶本義弘 JS3QXF  森田孝輔 JI3WVN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査のためハンパ散を搬入し、その結果を基に局に連絡し、緊急を要するはその都度関係機関と調整し、リアルタイムに調整を行った。</li> <li>・広田小学校 8J3AMT 局との情報交換等を行ない、無線による連携を意図した。</li> </ul>	<p>※ 8J3AMR 両局現地事務所が使用している周波数(436.72MHz)に一般アマテラスモバイルステーションの混信が多く、円滑な運用に困難が生じている。日本アマテラス無線連盟並びに関係機関等如く要望。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人、障害者向け入浴案内アマテラス無線のネットワークを通じて入浴を必要とした老人、障害者向け入浴の案内を始め。</li> </ul>
鷲尾征司 JH3PMH	JH3PMH (OP) 鷲尾さん 17:05~ 津市西06通集会所・現地調査			<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日の活動参加予定者 責任者 <u>鷲尾</u></li> </ul>
	8J3ADU (OP) 渡辺さん 10:00~ 福祉センターにてアマテラス関係			カン 本
	8J3ADR (OP) 澤さん 13:10~ 吾妻園向 ボランティア 6名 14:10着 <small>休(2名)</small>			
	8J3ADV (OP) 反保(カシ) 空町11-2 ボランティア派遣 14:30着 <small>・荷物入庫済み</small>			
	JS3QXF (OP) 梶本(カシ) 15:30~16:30 皇中町2丁目5 聖徳会館 <small>・現地調査</small>			

無線局名	AM:6 7 8 9 10 11PM:12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11AM:12 1 2 3 4 5																			
8J3ADR																				
8J3ADS																				
8J3ADT																				
8J3ADU																				
8J3ADV																				
本部固定局 AMR <del>8J3ADR</del>																				

電池交換の方法



受付年月日	平成7年 2月 20日 (火)		午前 午後	時頃 時頃	来協 FAX	電話 郵便
氏名	小中 信子	男	?	才	職業団体	
住所	〒660 兵庫県 尼崎市大島町12-2 ☎ 06 (419) 5808					
<現地活動可能期日>				(資格)		
月 日 ( ) ~ 月 日 ( )				アマチュア無線		
活動時間: ・日中 ・夕方 ・時頃						
無線従事者免許証番号 (対応)		JK3BIY				
(紹介した活動)						
(備考) 持参無線機 (ハンディ機) ・ モービル機 ・ 他 )						
この活動を何で知りましたか ( )						

アマ無線  
地域巡回訪問活動報告書

訪問活動日	いつ	2月14日 17:10 ~ 17:25	報告日	平成7年2月14日 17:30
	どこへ	津門西口公園集会所	訪問者	鷗尾征司
	だれに			

何をしに訪問したのか

- ・現在避難されている方々人数
- ・代表者のお名前
- ・物資は届いているか
- ・その他状況

どのようにしたのか

- ・2/14現在 26名、(2/7は36名であったが帰るかおれら)
- ・代表者は稲坂郁夫 注会社の出勤されている  
副として倉地良一さんが対応されている
- ・物資は届いている。(ゴハンが74kgほどなっている)  
10日位? ガス水道がくるようになった。
- ・ヤサインが不足している。又、ガスがきたので みぞれの位は 足りたい。

今後どのようにするのか

- ・電話がない。

セブツ物でいっている。  
(集会所のためのセブツ物を持つ事がまだない)

控本 JS3QXF 里中町2-5 連中自治会館 現地調査  
 電尾 JH3PMH 津門西町5-9 津門西公園集会所 現地調査

2月14日 (火)

無線局名	AM:6	7	8	9	10	11PM:	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11AM:	12	1	2	3	4	5			
8J3ADR																											
8J3ADS																											
8J3ADT																											
8J3ADU																											
8J3ADV																											
本部固定局 AMR <del>8J3ADR</del> 436.72MHz																											

13:10 ~ 17:15  
 OP 津(17) JI3LYL  
 名取町  
 \*青森県 鹿沼小汁産

10:00  
 OP 津辺(1741-12)  
 本福社センター  
 物産

13:20 ~ 14:06  
 OP 反条(52R)  
 反条町11-2  
 式ラジエア現産調査

JQ3NVK

アマ無線

地域巡回訪問活動報告書

訪問 活動日	いつ	2月14日 16:00~16:09	報告 日時	平成7年2月14日 16:30
	どこへ	里中町2丁目5 里中自治会館	訪問者	榎本義弘
	だれに			

何をしに訪問したのか

- 電話が設置されているか
- 現在避難されている方の人数
- 代表者の名前
- 物資は届いているか
- 一番必要とされているものは何か

どのようにしたのか

- 電話は設置されている。 0798-43-2337
- 50~60名の方が当初下られたが現在40名避難生活を  
している。(内8名の方の家が全壊している)
- 代表者は里中自治会長 吉竹恵(33才) 0798-41-4122(自宅)
- 物資は届けられている。
- 住宅が欲しい。あと 当座のお金

今後どのようにするのか

震災救援社協合同本部西宮現地事務所活動報告

平成7年 2月 12日(日曜日)

第 21日目

<p>本日の行動計画 (目標)</p>	<p>①サービスとニーズの需給調整 ②入浴サービス等のサービスの実施 ③市社協の地域活動体制の強化支援</p>	
<p>現地事務所要員</p>	<p>佐藤・林(大阪府社協)横山(福井県社協)、川根(豊橋市社協)永積(杉並区社協)、中村(岡谷市社協)、渡辺(岐阜県社協)、くめ川(栃木県社協)、森(愛知県社協)、神原(塩尻市社協)、北村(滋賀県社協)、山口(大津市社協) 須永(東京都社協)、綿原・小澤(枚方市社協)、川淵(武生市社協)、中山(伊那市社協)、藤木(長野県社協)、東(寝屋川市社協)、小林(門真市社協)、細川(今庄町社協)、神戸(春日井市社協)、日比野(愛知県社協)、佐甲(全社協)、山上(大阪府社協) 以上 25名</p>	
<p>活動参加者数</p>	<p>新規 70名 計183名( ) 継続 113名</p>	<p>宿泊 職員22名 V14名</p>
<p>主な活動内容</p>	<p>【Vコーディネート】(川根)1名 (Vキャプテンリーダーは西田) ①本日のボランティアは 183名、その内新規は70人、継続113人) ②Vの主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部派遣(4避難所に22人のV派遣)</li> <li>・巡回訪問(6地区、56人)</li> <li>・福祉センター・会館の避難者救護(消毒2人、物資32人、食料炊出6人、自転車管理2人)</li> <li>・個別対応(訪問件数11軒、35人)</li> <li>・義援金配分応援(9名)</li> <li>・現地事務所(10人)</li> </ul> <p>※ 本日から日本アマチュア無線連盟のVグループ5名が活動を開始。現地本部を基地局に市内全域をカバーでき、外に出ているVや一般アマチュア局からの情報収集に期待されます。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無線コールサイン=8J3AMR</span></p> <p>※ 避難生活がやや落ち着きが出てきている中、避難所から自宅に帰った被災者のニーズ把握が求められてきており、個別的対応から地域的対応が必要。</p> <p>【館内避難者救護・センター】 神原・永積・中村・渡辺・く川の5名 食事支給数=センター268人、会館191人、施設49人、近隣29人 計477人。 ①受付=被災者の相談、物資の払出、寄贈者の受付、来館者の窓口対応 52件</p>	



震災救援社協合同本部  
西宮市現地事務所活動報告

平成7年 2月 19日(日曜日)

第 28日目

1. 活動参加者

社協職員 29人  
ボランティア 169人(新規登録者66名)

2. 大阪府社協

(責任者) 佐藤 (サブ) 森、上田、今井

3. 主な活動内容

パート及び担当者	活動内容・課題等
Vコーディネイト 千葉(中津川市) 能仁(寝屋川市) 三浦(名古屋市) 西田(Vリーダー) 乾(Vリーダー) 谷野(Vリーダー)	外部派遣(避難所にV派遣 6人) 巡回訪問 12地区55人 福祉センター・会館の避難者接護 38人 個別対応応 10件 45人 現地事務所 10人 無線 10人 その他 5人 ・Vリーダーとして長期的にご尽力いただいた西田さんが就職活動のため退任。後任として乾さん、谷野さんが新しくリーダーとなる。 ・新しいリーダーとVコーディネーターとの打合せを持つ。新しい体制のもと、より良いV活動に取り組む！
館内避難者救護 (福祉センター受付) 桜井(加賀市)  能仁(寝屋川市) 臨時に入る	①避難者の照会 ②救援物資の受人、搬出 ③被災者生活の立直りに関する諸手続きおよび取り扱い先の照会 ④その他受付応対 相談件数 140件 ・生活福祉資金特別貸付の件の苦情及び市に対する苦情が多い。 ・市社協の対策フローチャートを受け、市社協と現地事務所とで役割分担を調整してほしい。

<p>(物 資)</p> <p>本谷 (加賀市)</p> <p>内田 (守口市)</p> <p>立花 (枚方市)</p> <p>花田 (交野市)</p>	<p>①物資の搬入 個人 衣類、敷布団、食器、石けん 1件</p> <p>②物資の搬出 中央公民館 缶詰50、みそ汁50、紙コップ800 高木公民館 洗濯バサミ50</p> <p>③夙川地区へ向けての準備及び仕分け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Vが寒いということで、物資の毛布を貸出をしているが、戻ってきたり、戻ってこなかったり。</li> <li>・Vのための毛布100枚、簡易まくら80個をできれば確保できないか。</li> <li>・お年寄も食べれて、簡単にできるレトルトの「おかゆ」をお願いしたい。</li> </ul>
<p>(食 事)</p> <p>山村 (栃木県)</p> <p>桃谷 (栃木県)</p>	<p>①朝食 パン3個、ジャム、バター、牛乳、オレンジ 1/2 イチゴ、サラダ</p> <p>②昼食 豚汁、ゆで玉子、ほうれん草のごまあえ (彦根市社協) 弁当、お茶</p> <p>③夕食 弁当、野菜スープ、漬物、麦茶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー内の連絡の徹底がなされていないため、食材の仕分けでミスがあった。</li> </ul>
<p>(福祉会館)</p> <p>前田 (滋賀・新旭)</p> <p>辻井 (滋賀県)</p>	<p>① 不足物品の補給 ② 配食の手伝い</p> <p>③ 被災者の介助 (自宅までの車いす介助、カゼ薬の手配、 代表者との連絡)</p> <p>④ 朝、夕 ゴミを集積場に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者自らしていけるような体制ができないものか。</li> </ul>
<p>相談コーディネーション</p> <p>反保 (栃木県河内町)</p> <p>片岡 (日立市)</p> <p>宮下 (金沢市)</p> <p>森部 (岐阜県)</p> <p>村田 (枚方市)</p> <p>太田 (葛生町) 新</p> <p>飯嶋 (浜松市) 新</p> <p>橋川 (茨城県)</p> <p>東口 (枚方市) 新</p>	<p>① 相談依頼件数 28件</p> <p>行政6 住居 4 入浴 2 人材派遣 5 情報サービス 10 物資 1 その他 0</p> <p>② ディサービス申し込み 1件</p> <p>③ 社協職員訪問 9件</p> <p>④ クリーニング 9件</p> <p>Vからの情報解決 31、電話による情報解決 27 継続ケースの処理 33、計 91件</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日までは、電話応対、ニーズの緊急性により、残務処理をすることができなかった。今日、人数が増えたこともあり、未処理分の整理を行った。</li> <li>・何でも相談にのってもらえると考え、悩みごと相談で電話してくるケースが増えた。</li> <li>・社協職員が行って、Vで対応できるか等の確認のため地域に出たい。</li> </ul>
<p>炊き出しの調整 太佐（泉佐野市） 川角（水戸市）</p>	<p>10団体 15箇所</p> <p>①彦根市社協（福祉センター、豚汁500食、昼）</p> <p>②寝屋川市社協（上甲子園中／ぜんざい100食、間食） （香露園小／豚汁800食、昼） （春風小／ぜんざい100食、間食）</p> <p>③東大阪市社協（春風公民館／豚汁400食、夕）</p> <p>④平井弘美（浜脇中／野菜いため100食、昼） （大社中／野菜いため100食、昼）</p> <p>⑤摂津市ボーイスカウト（平木小／おでん600食、昼） 第1団 （よせなべ600食、夕）</p> <p>⑥浜坂町社協（広田小／カレーライス、300食 昼）</p> <p>計6団体より9か所へ3,600食、本日の調整成立件数 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は日曜日なので、各社協からの炊き出し依頼はなし。</li> <li>炊き出しメニューがマンネリ化してきているのではないか。</li> <li>いつまで炊き出しを続けられるのだろうか。</li> <li>・炊き出し現場を担当者が見ることも大事。</li> </ul>
<p>物資の窓口 小倉（大垣市） 河野（名古屋）</p>	<p>対策本部、市社協の物資係との連絡調整</p> <p>①物資の搬入 トイレ用消臭剤、うがい薬（朝日基地より） 子供用衣料、離乳食等（個人より）</p> <p>②物資調整 相談、アマ無線より個人物資の依頼7件あり</p> <p>③本部宛て依頼 ウェットティッシュ、A4パイプ式ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自炊のためのカセットコンロ、ガスボンベの希望が多い。</li> <li>避難所からの大量の物資の依頼についての対応をどうするか。</li> <li>市社協との連絡をスムーズにする。</li> </ul>

<p>アマ無線</p> <p>小中 幸雄 吉川、満園、武内 石山、長田、長田 山本、李、中村 水谷、中村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模の避難所を対象とした状態等のレポート収集</li> <li>・ハンデー機5台をフル稼働し、各地の情報を得た。</li> <li>・いま欲しい物がすぐに届いたので、避難所の方に感謝された。</li> <li>・市当局から「今管理体制を整えつつあるので、勝手に動いてもらっては困る」と要請があった。市との調整が必要。</li> <li>・通信方法としては充分活用できた。</li> </ul>																				
<p>情報・広報</p> <p>後出（石川県） 古井（静岡県） 煙美（鈴鹿市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各種情報の収集、整理</li> <li>②新聞切り抜きをまとめ、情報13として内部に配布</li> <li>③広報用チラシの検討</li> <li>④西宮Vネットと情報交換のありかたについて協議</li> <li>⑤現地事務局スタッフ体制図の検討</li> </ul>																				
<p>改善点／備考</p>	<p>①ボランティアの受入れについて：</p> <p>連日150人前後のボランティアに加えて、毎日30人の新規のボランティアの受入れをスムーズに行い、活動をすすめるためにスタッフ特にVコーディネーターとVリーダーの密接な連携が今後必要となる。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">各センター</td> <td style="padding-right: 20px;">4か所</td> <td style="padding-right: 20px;">5～10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巡回</td> <td></td> <td>50</td> <td>全体の状況による</td> </tr> <tr> <td>センター、会館</td> <td></td> <td>40～50</td> <td>物資により変動</td> </tr> <tr> <td>個別対応</td> <td></td> <td>40～50</td> <td>ケースの数による</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>10</td> <td></td> </tr> </table> <p>②「西宮市社協をどう援助できるか」これが課題だが、それはまた課題でもある。西宮市や西宮市社協との連絡・調整はそれぞれの担当部署でも課題となっている。</p>	各センター	4か所	5～10		巡回		50	全体の状況による	センター、会館		40～50	物資により変動	個別対応		40～50	ケースの数による	その他		10	
各センター	4か所	5～10																			
巡回		50	全体の状況による																		
センター、会館		40～50	物資により変動																		
個別対応		40～50	ケースの数による																		
その他		10																			

## 3月12日（日）ミーティング

### 報 告

1. 現地事務所解散に伴う報告・礼状を出す→活動されたボランティア、社協職員

### 本日の活動と課題

- ・Vコーディネイト  
（Vセクション）
- ・福祉センター受付
- ・物資
- ・食事
- ・福祉会館
- ・相談コーディネイト
- ・炊き出しの調整
- ・物資の窓口
- ・情報、広報
- ・アマチュア無線
- ・移送サービス
- ・ボランティア

### 明日のスタッフの体制と活動

2/23 → 2/24へ

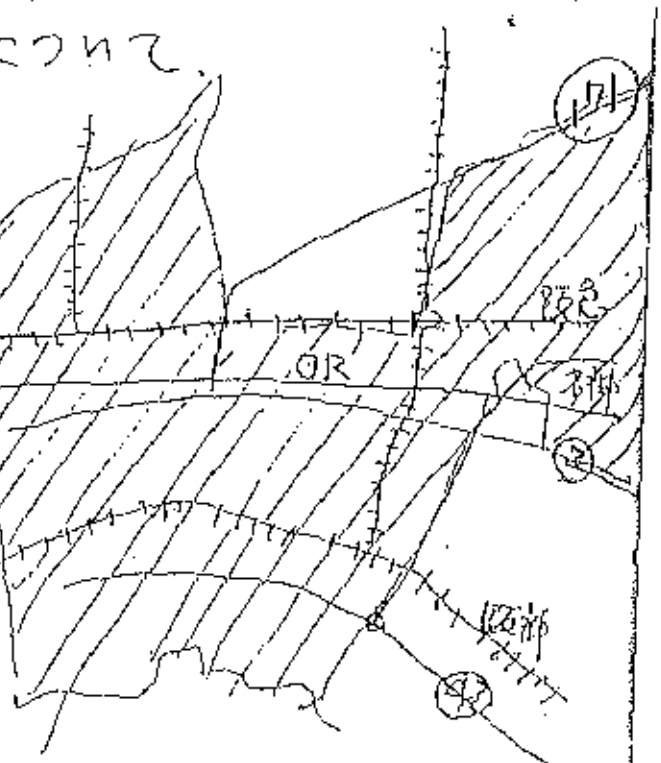
※ 相談コーナー係の綿原(Shimizu) 倉田(女性)と TWR, GFF 相違の協議により、高齢者、世帯、障害者宅等の定集、定期フェウをアミアVにてやりか  
と云う提案

↓  
一斉/お集掛け直感力として 謝辞者、リストとフェウは  
アミアV基地局でアインクしておく といふ内容

↓  
「OOさん！福祉ボランティアです、その後変わり  
ありませんか？」  
と軽く、フェウしてゆく 活動です。

※ 南店、南業調査について

- ・ 赤倉線部には
- ・ 調査活動をこなすための個人差がありデータは正確な情報源になっていない
- ・ 最終的整理作業の方法についても意見交換が必要



※ JABYRLの引越し → 港区 8J3AMJと  
8J3AMLの廃止撤去 同い所へ

# 了ち了無線局様

阪神大震災救援活動参加ありがとうございます  
\* 現地状況調査をお願いいたします

(目的)

生活情報マップを作成するため

市内の商店、自転車、単車屋... 病院、薬局、理容店  
等の営業状況を把握するため、くわしく調査下さい。

(例) 小中商店、ヤサシ、クダモノ、OK (営業時間)  
自転車、バイク修理OK 9:00 ~ 21:00

市内今津10丁... → バイク修理サービス...

添付の地図の範囲を2人1グループ程度で調査  
下さい。(場所をマキング下さい)

あなたの情報をもとに生活情報マップを作成  
しますのでよろしくお願いいたします

このマップをJ3AMRに置いて移動局からの答  
合せ、応答にどうか予定です

\* 移動には安全ボートで移動願います

J3AMR 西宮現地事務所

ATE-AM 愛好会 J3NDK

営業店調査票

地区名 区南 A

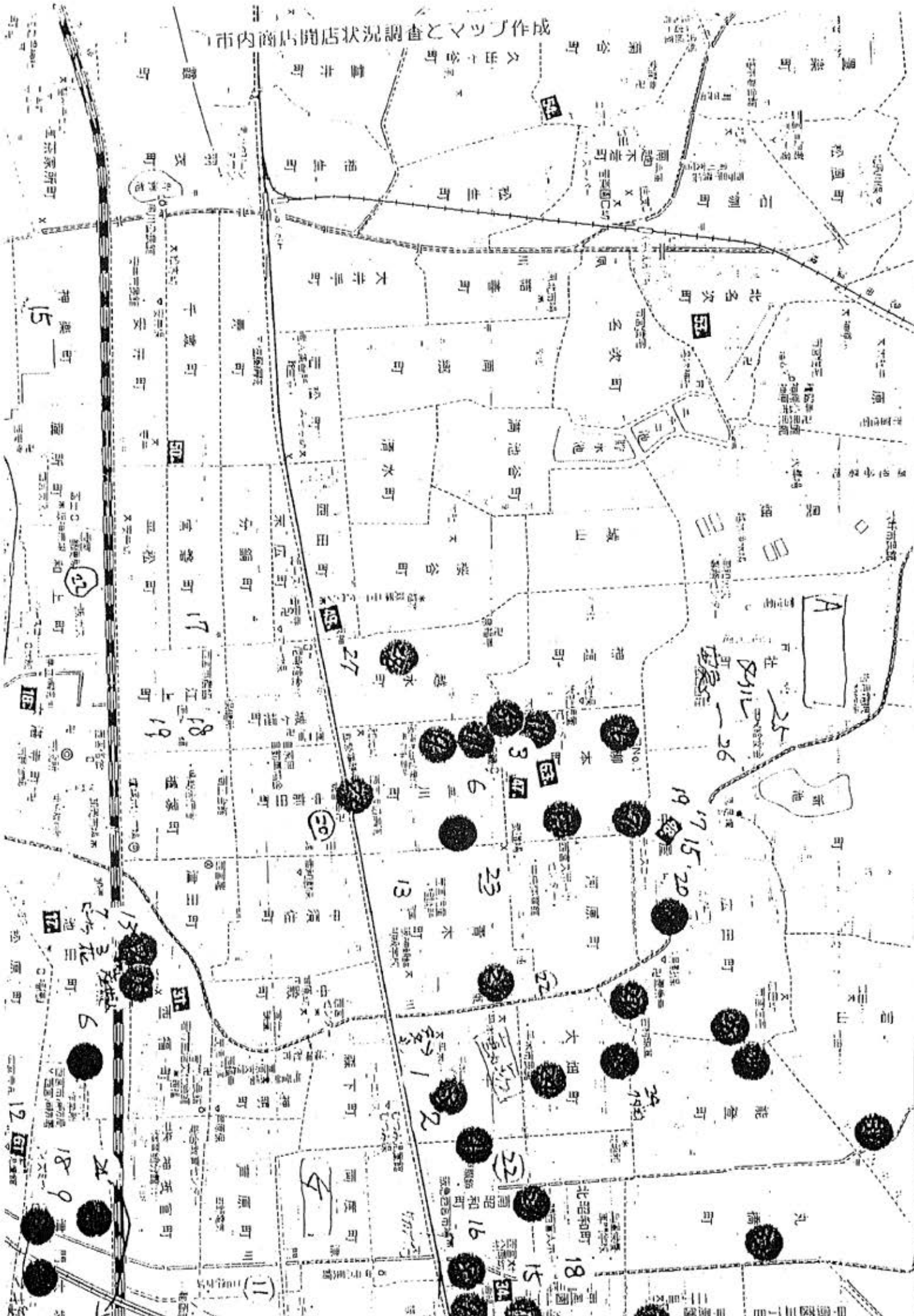
調査日平成 年 2月26日

担当者 岩屋

NO	店名 (業種)	TEL	営業時間	町名	備考
①	社協医院	26-9236	有 (水曜休) 10:00 ~ 16:00	今津町 3丁目	通称不明
②	市川医院	73-1258	有	柳本町 8-17	
③	川口 歯科	73-6590	?	" 8-15	建物OTC 診察?
④	近江七左衛門 (自然食品)	70-2140	年中 無休 10:00-19:00	" 1-19	
⑤	夕日 薬局 (可)	71-1244	年中 無休 8:00-19:00	" 7-3	
⑥	天野接骨院	連絡先 73-2023	無休 当日休診	" 1-26	当分の内 休診
⑦	南西スパー		有 (水曜休) 10:00-19:00	室川町 6	
⑧	亀岡 歯科		有	柳本町 番 7-34	
⑨	きんぎ銀行		有 通常通り	室川町 6-10	
⑩	山戸 外科 美容 歯科	72-3323 <del>72-8841</del>	有 (水・土曜PM 日曜休診) 9:30-13:00 17:00-19:00	室川町 4	
⑪	阿波クリニック	74-7666	有 (水・土曜PM 日曜休診) 9:00-12:00 11:00-19:00	柳本町 2-20	
⑫	大家 歯科	72-8841	有 (水・土曜PM 日曜休診) 9:30-13:00 13:00-19:00	室川町 5-26	
⑬	ビエロXカネ	74-1847	無休 10:00-20:00	室川町 14-9	L22- 既製老時録無事
⑭	ローソン (マート)	74-5845	24時間	青木町 2	



市内商店開店状況調査とマップ作成



社  
BAIL  
26

19  
17  
15  
20

29  
1  
2

7  
3  
花  
町  
6

18  
9

(11)

現地車務所内の作成された記録より

ボランティア移送用マイクロバス運行及びルート案内 送迎の連絡

身障者、通院時の車運転代行及びルート案内

兵庫県南部地震被災

による相談記録

種別 1 電話 2 巡回訪問 3 相談持込 4 その他 ( )

受付年月日	2月24日 (金)	AM	時	分
受付者	杉岡	PM	時	分
				VC

相談者氏名	榎 森 (小工)	性別	男・女	年齢	歳
住所		電話			
相談区分	1 行政 2 住居 3 物資 4 入浴・入所 5 人材派遣 6 情報サービス 7 その他 ( )				
家族状況					
相談内容	<p>2/26、真砂中学校で物資の仕分け作業があり、          30人が求められている。          大阪で15人確保 → 別ルートで通行可能          残り15人西宮で手配された。          ↓          西宮では9:30 スタート可能。          15人、①のマイクロで送迎のこと。          マスクの②アマ無線の高井さんOK。          送迎も可。時間、ルート指示された。          分か5分程度</p>				
対応内容	<p>小甲さん(アマ無線の世話)。          ・マイクロバス運転手への仲間が対応          ・現場と現地車務所間の連絡はアマ無線使用</p>				
特記事項					
処理者		処理年月日	月	日 ( )	AM 時 分 PM 時 分
関係部所との連携	1 ボランティアコーディネーター	有	無	ニーズ対応 結果	
	2 相談ケアコーディネーション	有	無	継続	終了
	3 ボランティア	有	無		
最終確認	解決 / 一時解決 / 保留 / 継続 引継 (引継先 市社協 / 市社協VC / 行政 / その他)				確認者

13日より、始まる各県社協の協力で実施される、西宮市内  
 調査、調査委員責任者会議（大阪市中心区で開催）に出席  
 チュア無線通信の説明、お手伝いができることを説明した。

# 重度障害者や高齢者

# 暮らし改善

3/3 朝日新聞

## 西宮市市社協 介護の有無など調査

西宮市と市社会福祉協議会  
 会は三日から、市内の重  
 度心身障害者と、独り暮らし  
 らしや喪たきりのお年寄  
 り計約八千五百人を対象  
 に、生活状況調査を実施す  
 る。  
 震災で受けた被害や、そ  
 の後の生活で困っているこ  
 となどを把握するのが狙  
 い。地元の民生委員をはじめ  
 め、和歌山、津賀、兵庫、  
 初木、大阪の各府県社会福  
 祉協議会から職員ら延べ八  
 百人の協力で、各家庭や避  
 難所を回って面接する。  
 調査は震災後初めてで、  
 これまで社会的に弱い立場  
 の人たちの実態把握が遅れ  
 ていた。面接では、家族形  
 態や現住の居住状況、介護  
 者の有無、家の復旧状況、  
 在宅福祉サービスの利用  
 状況、健康状態、困って  
 いること、緊急の対応が必  
 要か、などを聞き取りす  
 る。  
 市と協議会は、食事サ

## 高齢者らのニーズ調査

西宮市など 7387人対象に

市と同市社会福祉協  
 会三日、喪たきりなど  
 の必要な高齢者と重  
 度の計七千三百八十  
 七名に、被災や生活  
 実態調査に乗り出  
 す。これまでも、地域の民生委  
 員やボランティアらが相談  
 に乗ってきたが、詳しい被  
 災状況がつかめなかった。  
 戸別訪問して生活面での困  
 なことに不自由しているの  
 を調査。身の回りの世話  
 や老人ホームへの入所希望

きょうから身障者  
 らの生活状況調査  
 西宮市と市社協  
 西宮市と同市社会福祉協  
 議会は、震災後の高齢者や  
 身障者の現状を把握するた  
 め、三日から生活状況調査  
 を始める。  
 調査対象は、身障者手帳  
 (一、二級)や療育手帳A  
 の所持者約四千人と食事サ  
 ービスや介護手当て、緊急  
 通報システムなどを利用す  
 る高齢者約三千五百人。市  
 内二十九地区の民生委員や  
 他府県の社協職員らの応援  
 で、自宅や避難所などで面  
 接調査を行う。緊急なケー  
 スについては、西宮市社協  
 のボランティアが対応す  
 る。また、震災により身障  
 者の認定を受けた人や介護  
 が必要になった高齢者をリ  
 ストアップし、ケースワ  
 ーカーやホームヘルパーの派  
 遣など福祉サービスの提供  
 を図っていく。

サービスや介護手当て、緊急通  
 報システムを利用している  
 独り暮らしのお年寄りや障  
 害者以外にも、各地区の民  
 生委員の情報をもとに調査  
 対象を広げ、市内での実態  
 把握に努める。調査の  
 結果、すぐに支援が必要な  
 場合は、ボランティアやホ  
 ームヘルパーを派遣してい  
 く方針だ。

は身体障害者手帳  
 級と療育手帳Aを持  
 九百八十八人と、市  
 通報システムや車  
 かを調査。身の回りの世話  
 や老人ホームへの入所希望

3/3 朝日新聞

★ 2/4

全戸領域自黒知ア、キャブを走らせる会  
会長他2名が当事務所を訪問し  
て、移送サ-ビスボウニテア、とい車  
等にていきりありた。

キャブを参し基地として  
サ-ビスをした、ア知ア無籍局と  
スワッフの依頼があり、当ST3AMR  
も全面的に協力する事とした  
主体は「兵庫県南部地震」救援  
合同対策本部、西宮現地事務所  
(西宮市福祉会館)です

以後ルート案内、運転の依頼(相談と  
して下さる)の際に自黒知ア、キャブの構造  
操作等も体験していただきたいとの  
ことになり→会長佐々木浩操さん  
おしく

(3月1日別の予定あり) (120)

広域目黒チャエ、キャブを走らせる会 (協賛NPO) のボランティアで対応  
 アップで 運転代行とルート案内 (比老人の移動) ルート案内及後方支援は

作中 一 一 一 表 (833AMR NO. 72222無係可)

受付年月日: 1995年3月12日

連絡者 藤田

フリガナ 利用者	ヤマウチ キンキチ 山内 金吉 (75歳)		④ 女
住所	吹田市つくも台 ぼり手荘(4階)		
電話	06-834-7526 (R116-5014号) 会社: 06-462-6621		
利用目的	吹田市民病院から、兵庫区の自宅へモビリティ。 人工透析・心臓が少し弱い スリッパ-使用 地震後、自衛隊のAVC79-で病院へ運んでもらった。		
利用日 配車場所	3月25日(土曜日) 吹田市民病院 病室内を待つ	迎車時間 A M / P M	10:30
目的地	兵庫区 染山通 2-5-15 ミナミビル1006号 6階 A603 橋本 隆雄		
到着時間			
区分	1 車いす 4 歩行困難 2 電動車いす 5 視覚障害 ③ 寝台 6 その他 ( )		
介助者	無		
	必要	介助内容 看護員 必要人数 1人	大阪府中央区心斎橋筋1-1-27 Tel: 06-252-0418 岩崎眼科内科医院へ依頼
	有	付き添い人数 3人	家族

その他 全国広域目黒チャエキャブを走らせる会、移送サービスボランティアで対応

去車2台

看護員3名は、10:30 現地 (吹田市民病院)  
から、A2台。

## ボランティアのみなさんへ

3月15日(水)をもって、現在のボランティア組織を解散します。

ここ、震災救援社協合同本部西宮市現地事務所が設置されて50日あまりがすぎました。この間、2000名を超えるボランティアの方々が、全国各地からこの場を助れ、積極的なボランティア活動を繰り広げてきました。被災された方々とボランティアの協力で、春の訪れとともに街が元気になってきています。このことは、この事務所に寄せられる依頼件数が日に日に減少していることから察することができます。

緊急の救援がひと段落し、被災された方々が元気になり始めた状況の下、3月15日(水)をもって、震災救援社協合同本部を中心となって運営してきた大阪府社会福祉協議会に替わって、兵庫県社会福祉協議会が活動をすすめることになりました。大阪府社会福祉協議会が中心となった活動は「救援」が目標でした。しかし、兵庫県社会福祉協議会は「復興」を目標とし、そのためには地元住民が中心となったボランティア活動となることを願っています。

この目標が変わったことを第1の理由に、これまでのボランティア組織を解散します。

今回の地震をきっかけに「ボランティア」という言葉があちらこちらで聞かれるようになりました。しかし、それと同時に「ボランティアって何」という疑問を誰もが抱いたことでしょう。その答えは誰が教えてくれるものでもなく、自分で見つけるものだと思います。「災害に関わるボランティア」はある時期で終わります。しかし、「福祉に関わるボランティア」は終わりのない、今後ますます必要とされるものではないでしょうか。自分の行った活動から、自分なりの「ボランティア」をみつけ、永く続けていっていただきたいと思います。

現在の状況を理解していただいた上で、ますます活発なボランティア活動が繰り広げられますよう御願い致します。

3月11日(土)

ボランティア本部

4月1日以後も西宮現地事務所他の運用を希望します  
記から下の問いについて答えます。(JM3WTR) 石橋

① 西宮市市役所の建物にも大きく被害の川あとか残り平常どりの行政がまだ行なえておられますので、対応を市の社協、ボランティアセンター等がカバーされている事が多いので、地元のアマチュア無線家の力をつたえるという事が多いからです。

西宮社協とボランティアセンターはアマチュア無線に東京から緊急台所5台分の移送クルマコは同窓で行動しております。ここで移送について「スカリフト付き及びストレッチャー対応車で老人や障害が残された方等を送迎」と言う目的のボランティアです。市内やその他に被災された方のニーズを勤めておられます。神戸、西宮、その他世の中が「いついつかの備わりの方」を含め、退院、転院とまた「これから必要とされる分野」です。

最近のタクシー、バス等のフロアのオヤ被災された方の中からボランティアで運搬される方も現れた様です。地理上不都合な関東の人が運搬された時は「平常」な交通の事情です。二次災害(老人等の体調を食む)等の急を要する場合も考えられますので、今しばらくの運用を希望するのです。

② (西宮市を中心とするアマチュア無線局)

代表者 〒662

イシノシロコ

西宮市大社町8-5-10

石橋 裕子 (JM3WTR)

0798-744-5725

③ リーダー活動ですが、事前に知らせていた方がいいは(可)

JA3BCO	JE3FWX	JM3WTR
JA3UKU	JE3FZG	JQ3VKU
JH3UYH	JE3IGZ	JQ3WGD
JH3MNW	JG3IGZ	(他数局 社外の方)

④ 上記の局長はほとんどJARLの会員であり、アマチュア無線を楽しく運用される上で、モラルを守り、理解した上で、3月22日からの運用されております。

(別記) 読みつらければ書きません。

## V の活動報告

今まさに倒壊した家を発見！

そして私達は行動を開始

池谷	剛正	(愛知県社協)
丸山	啓一	(V・長野県箕輪市)
増田	知子	(V・大阪府池田市)
手嶋	かりな	(V・愛知県豊橋市)
吉成	玲子	(V・滋賀県磯部町)

3月10日午後2時50分頃、車で物資を配達途中に歩道までどっと崩れ落ちている民家を発見。その周囲で多くの人が騒いでおり、その様子からその家がまさに崩れたばかりで、中に人がいるらしいことがわかった。ただちに車を脇に止めて様子を見に行く。

近所の人のお話から中におじいさんが閉じ込められていること。そして、足がはさまって身動きがとれない状態にあるらしい。警察、消防への通報がなされたかどうか周囲の人に聞くが、はっきりしたことがわからず、ただちに無線で本部に通報、本部より警察消防に連絡してもらう。同時におじいさん以外の方が家の中になかったかどうか、又歩道に人が歩いていなかったかを聞く。歩道を歩いている人はいなかったが、同居しているおばあさんの所在がはっきりわからなかった。ある人が犬を連れて浜の方へ散歩に出掛けたのを見かけたが、帰ってきたかどうかは知らない。どの人に聞いてもはっきりしなかった。そうこうするうちに、パトカー・救急車・レスキュー隊が到着。直ちに、おじいさんの救出が行われ、ほとんどケガもなく無事であった。念のため、おじいさんは救急車で病院に運ばれていった。

一方、おばあさんの安否を皆が気が付かないながらも探そうとする人が全くいないため、私達が平分けして探すことにした。2人は現場に残り、3人は(ひとり車で、2人は徒歩で)探しにいった。あちこち探すもなかなか見つからず気持ちは焦るばかり・・・海岸のはるか向こうに、おぼろげながら人影が見えるのでおばあさんかどうか分からないけれども見に行くことにした。かなり遠くなので車を走らせた。到着し、浜拾いに車を止めると、ちょうど犬を連れおばあさんが浜から上がってくる所だった。そこで、Yさんと確認。事情をきいてまんて話し、車にのせて直ちに家まで戻り、警察に事情を話し我々は本部に引き上げた。

何をやるべきか何ができるのか、分からなかったが、無線で消防署・警察に通報してもらうなか、おばあさんが外で散歩している事を信じて探し回ったことが、奇跡的に助かったおじいさんと共にうれしさと充実感でいっぱいです。現地本部のアマチュア無線のスタッフのみなさん、私達を支えてくれて本当にありがとうございました。